

2021年10月1日
日本銀行新潟支店

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が縮小した。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が縮小した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	はん用・生産用・業務用機械、 木材・木製品、紙・パルプ、 非鉄金属、電気機械	設備投資需要の持ち直し 住宅需要の改善 堅調なデジタル関連需要
	悪化	食料品、輸送用機械、 窯業・土石製品	コストアップによる利幅縮小 部品調達難による自動車の減産
非製造業	改善	卸売、情報通信、物品賃貸、不動産、 対個人サービス	設備投資需要の持ち直し 自社製品・サービスの販売改善
	悪化	建設	公共工事関連受注の減少

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大する見通し。

(事業計画)

- 2021年度の**売上高**は、前年を上回る計画、**経常利益**は、前年を下回る計画である。前回調査対比では、売上高は上方修正となった一方、経常利益は下方修正となった。
—— 経常利益は、製造業で、堅調なデジタル関連需要や設備投資需要の持ち直しなどから、増益計画となっている。非製造業は、コストアップによる利幅縮小や工事受注の減少などから、減益計画となっている。
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、コストアップによる利幅縮小や一部業種での供給制約による受注減少などから、下方修正となった。非製造業では、感染症再拡大に伴う外出自粛の影響などから、下方修正となった。

- 2021年度の設備投資は、前年を上回る計画である。前回調査対比では、幾分下方修正となった。
 - 製造業は、需要が好調な製品の能増投資や前年度からの投資計画の後ずれなどから、前年を上回る計画である。非製造業は、前年度の大規模投資の反動などから、前年を下回る計画である。
 - 前回調査対比で見ると、製造業では、需要が好調な製品の能増投資などから、幾分上方修正となった。非製造業では、投資計画の縮小・先送りなどから、下方修正となった。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D.I.、仕入価格判断D.I.は、「上昇」超幅が拡大した。
- 雇用人員判断D.I.は、「不足」超幅が拡大した。
- 資金繰り判断D.I.は、前回調査並みの「楽である」超となった。貸出態度判断D.I.は、「緩い」超幅が小幅に縮小した。借入金利水準判断D.I.は、「低下」超幅が小幅に縮小した。

以 上